

観

全国的にも珍しい多様な植物の宝庫 北区の自然・景観

①十二潟

古阿賀とも呼ばれ、阿賀野川の乱流蛇行によってできた三日月湖です。広さは約6haで上池、中池、下池に分かれています。昔は潟の幅が役87mもあったといわれ、対岸まで張った縄をたぐりながら船で往来し、ヒシ採りやフナ釣りも行われていました。現在、広さは半減していますが、ヒシのほか希少なアサザ、ガガバタなど水生植物が群生しています。貴重な十二潟の自然を守る取り組みも始まっています。



アサザ(ミツガシワ科) ガガバタ(ミツガシワ科) コウホネ(スイレン科)

②はさ木と花の岡方街道

昔、刈り稲は「はさ木」に掛けて乾燥させていました。その頃の農作業を偲ぶシンボルとして、直線1,750mの区間にはさ木(ハンノキ)が植えられています。このあたりの約1,600haからなる広大な田園風景は圧巻です。北区最初の耕地整理の地であり、北区一の広さも誇ります。



岡方・長浦地区の雄大な田園風景



③ひょうたん池

春から夏にかけてスイレン、夏はヒシ、オニバスなどの水生植物、冬は野鳥などを見る事ができます。松浜の海岸砂丘地の東西に、「く」の字型をした細長い池です。いつからできたのか、はっきりしませんが、その池の形から「ひょうたん池」と呼ばれています。池にはフナやライギョが生息し、ヒシやオニバスなどの水生植物も見られます。砂丘地には海浜植物が生え、チョウトンボをはじめ20種以上のトンボが飛び交います。絶滅危惧種であるオオモノサシトンボの生息も確認されたことがあります。



④あかしあ公園

東区側から松浜橋を渡ると左側に小高い丘があります。ここには、もともと港の灯台がありました。しかし航空路の支障となるので灯台を松浜漁港内に移設し、その後ここは北極星スコープや東屋がある公園となりました。



日本海や阿賀野川、新潟空港や新潟市内が一望でき、遠くは弥彦山まで見えることもあります。

⑤島見浜の夕陽

日本海側であるため海に沈む夕日が楽しめます。長く続く砂浜、人工物や佐渡島と織りなす風景が時間の経過とともに赤く染まっていき、やがて漆黒が包み込んでいき、その後星空となるという景色は、ゆったりとした時間を与えてくれます。

